

ジェトロ認定貿易アドバイザー試験 受験対策ゼミを終了して

副理事長 渡辺肇幸 (千葉 #115)

昨年開始以来、当協会の大きな事業の一つである、ジェトロ認定貿易アドバイザー試験受験対策ゼミは、9月30日の「直前対策ゼミ」をもって、無事終了しました。本事業に直接あるいは間接にご協力くださった皆様にお礼申し上げます。

今回は昨年の実績を踏まえ、東京に加え、大阪でも受験対策ゼミを実施、また数年前から独自に対策ゼミを実施してきた北日本支部ともども同一内容で実施しました。その結果おおむね好評に推移し、事業としても採算がとれ、当協会としても研修事業運営に関する知識と経験を上積みすることができました。

1. ジェトロ認定貿易アドバイザー試験廃止の影響

今回は昨年の実績を踏まえ、大阪開催や受験者の大幅増など相当強気の計画を立ててのぞみましたが、ジェトロが本試験を今回限りで廃止するとの決定がなされ、波乱含みの状況となりました。この影響は大きく、当初予定の受講者200名には達しませんでした。東京会場(8月19日と25日)に計約90名、大阪会場(9月1日)に約40名、仙台会場(8月25日)には約5名、合計約135名、更に直前対策ゼミに30数名の申込者があり、申込者は延べ約170名となりました。

2. 直前対策ゼミを発案

1次試験が10月中旬なることを考慮、9月末に「直前対策ゼミ」として徹底的な過去問検討を行なうゼミをあらたに計画しました。30名定員で募集を始めましたが、直前になり多数の応募があり、一部お断りせざるを得ない盛況となりました。内訳は約20名が8月に受講したりピーター、残り約10名が新規受講者でした。受講者全般に言えることですが、数年来受験している人、「実践国際

ビジネス教本」をぼろぼろになるまで読み込んでいる人、今回が最後だからぜひともという熱心な人も多く見られました。講師一同多数の受講者にぜひとも合格してもらいたいと思った次第です。

3. 今回の事業を振り返って

当協会では事業をする場合、先ず何をどのようにやるのかある程度具体的な提案が必要であること、さらにその提案を実行するための裏方が重要であることが再認識できました。例えばテキスト印刷手配、受講者募集、会場の確保、その他事務がうまく回ってゆかないと事業はうまく行きません。昨年同様、今回も裏方を務めてくれた皆さんの功績は非常に大きいものでありました。

(大阪会場については支部活動の欄をご参照下さい。)



東京会場 ゼミ風景 講師は網谷昭寛氏(東京 #001)

東京港湾施設を身近に見て!

平林厚美(長野 #312)

大手企業の新入社員向け国際要員基礎研修の一環として、東京港船上見学、税関・CY・CFS見学のアテンドをする機会を得ました。見学裏事情も含めてご紹介いたします。

船上から東京港を見学するためには、東京都が所有する視察船「新東京丸」に乗船(竹芝)し、約1時間20分の見学を楽しむことができます。午前と午後の2回の出

Contents (目次)

P1... ジェトロ認定貿易アドバイザー試験 受験対策ゼミを終了して 東京港湾施設を身近に見て!	渡辺 肇幸 平林 厚美	P4... オーストラリアに移って、もうすぐ4年 小林 公典 支部活動(首都圏地区、東海、関西、九州各支部)
P2... 国内契約の形骸化 貿易コンサルと講師業のシナジー効果	永野 靖夫 弓場 俊也	P6... AIBA NET 論壇 アドバイザーの活動
P3... 貿易アドバイザーと勉強 チュニスよりごまめの歯軋り	池崎 元彦 一柳 光宏	P8... アドバイザーの現況 理事会議事録(抄録)
		P9... 編集後記

航が原則となっていますが、各便の乗船人数が20名以上（利用人数が最大で60名）でないと運行しない規定になっています。研修生と共にAIBA皆様のご協力を得て、無事に船上からの見学を開催することができました。因みに、9名以下の残席利用予約は、すべてインターネット予約となっています。

東京港には、国際物流の中心的大井コンテナふ頭や青海コンテナふ頭、国内航路用ふ頭、客船用ふ頭、フェリーやRO-RO船のふ頭、在来船が利用するふ頭などがあります。昭和42年わが国初のコンテナ船が入港したふ頭が品川ふ頭になります。また、廃棄物処分場としての埋め立ても行われています。将来は大規模なコンテナふ頭などの建設も計画されているようです。お台場という名前は、ペリーの黒船攻撃用に設けられた大砲の台が置かれた所から名付けられているようですが、いまでもその跡が一部残っています。

東京税関大井出張所は、大井コンテナふ頭の貨物を管轄しています。2005年外国貿易コンテナ取扱個数第1位は東京港になっています。大型X線検査場は、大井側と青海側の2箇所にあります。施設内を見学することはできません。

コンテナヤード見学として、東京国際コンテナターミナルを見学。管理棟の屋上から全体を見ることができました。バスに乗りながら、コンテナターミナルの置かれているマーシャリングヤード（海側に一番近いヤード）の脇からガントリークレーンを見上げる光景は正に圧巻でした。この大きなクレーンがコンテナの上部4箇所を引っ掛ける場面は、近くにいっても位置決めフレームが降りてきて外から見ることはできませんでしたが、フックが90度回転するとオン、オフの状態になります。コンテナの利用は、在来船時の荷役に比較して10倍の効率になっているようです。

港湾施設見学参加者は、貿易を肌で感じることになり、貿易業務に対する興味が湧くことにもつながるようです。

国内契約の形骸化

永野靖夫（東京 #68）

先日、ある大手企業で彼等が彼等の下請企業と取交わしているモデル契約書を読ませて戴いた。読んで吃驚したのは、下請企業は彼等の納入部品について無期限、かつ、金額的にも無限の責任を負っていることでした。そこで、担当者にもこのような契約は実際に履行可能なのかと聞いたところ、何か起きたら本契約とは別に下請企業と相談することになっており、この契約書は管理部門を納得させるためのものとの見解でした。この点は営業部門も下請企業も全て承知の上で、このようにして長年やってきたとのこと。私にも、このようなことはよくあることだろうとの想像はつきます。

ところが、当該企業は現在一つの問題に直面しています。それは下請企業の廃業が相次ぎ、その結果、中国の企業に当該部品の発注をせざるを得ない状況に立ち入ったからです。さすがに、上述の契約書を中国側に提示する訳にはゆかず、かと言って、どういう契約書を提示すべきかの社内コンセンサスも出来上がっていません。一方、部品は日々必要ですので、取り敢えず、信用状を開設して船積みが続いている状況です。

そして、最初は良質の部品が納入されてきていたのですが、ご多分に洩れず、最近では部品の質が段々と落ちてきたということです。そこで、この問題に対処したいのだが、どうすべきかを定めた契約が存在しないため、当該企業はメールで抗議はしているものの、それ以上のことは、現在出来ていません。

要は中国企業ときちんとした契約が締結できればよいのですが、本件の解決策を提案できる人間が社内に見当たらないとのこと。このような状況下で、くだんの担当者から私が相談にあずかった訳ですが、私としても社内の総意が出来上がっていない以上どうしようもありません。これが貿易相談員としての私の限界か、はたまた、何か打開策がないものか、苦慮している今日この頃です。皆様、何か名案がありましたら、是非、お聞かせください。

貿易コンサルと講師業のシナジー効果

弓場俊也（大阪 #415）

貿易アドバイザー受験対策セミナーは大阪で9月1日に開催され38名の受講生でほぼ満席の盛況でした。私は講義を始める時に、いつも受講生の顔を一通り眺めることにしているのですが、予想に反して、若い方々、特に女性が多かったのは意外でした。また四国、広島、名古屋、関東地方など遠方からの参加者の方々もおられました。そして全員が講義に熱心に耳を傾けていただけたのでうれしかったです。

このセミナー大成功の裏には門支部長を始めとして事務方のご尽力を忘れてはなりません。

私は「国際マーケティング」を担当しましたが、受験生の多くの方々が、もっとも苦手とする科目ではないでしょうか。私自身も受験したときを振り返り、当時は過去問題集もなかったのを何を勉強すべきか途方に暮れたことを思い出します。

今回は限られた短い時間での講義なので、受験合格に向けた実戦的内容に絞り、参考になる資料、Webサイトを紹介しその活用の仕方を解説しました。資格試験の対策には過去問題を徹底して研究することが最も合理的で有効な勉強方法なので、講義の半分は過去問題を解きながら、解説を補強していく方法を取りました。

今回多くの受講生が参加されたのはAIBAが対外的に本セミナーをアピールした努力の結果だと考えます。逆に

言えば、もっと前からこのような受験対策セミナーを毎年開催していれば、貿易アドバイザー試験の認知度も上がり、合格者が増えAIBAメンバーの増加も期待できたのではないかと思います。今回のセミナー主催で学んだ運営ノウハウを、将来におけるAIBA主催の「通関士」「貿易実務検定」「日商ビジネス英語検定」などの受験対策セミナー実施に応用できないか検討してみるのも一考ではないでしょうか。

今回のセミナー開催に当たり、講師応募者が少なかったように思います。AIBAメンバーはそれぞれの貿易専門分野で見識の深い方達ばかりです。その知識をぜひ生かして多くの諸賢がセミナー講師にもトライして戴きたいと思います。私はAIBAが貿易に関するコンサル、セミナーサービスを支援できるタスクフォースであってほしいと願っています。

私は「教えることは学ぶこと」をテーマに貿易コンサル業と講師業を両立させたいと望んでいます。リアルタイムの貿易実務作業から得られる実践的な情報を講義に反映させながら、講義の準備のために得た理論的知識を実務の現場に反映させることで、相乗効果が生まれます。今後も実務（収入）と教育（社会貢献）のバランスを取りながら、自分の仕事スタイルを確立したいと考えております。

貿易アドバイザーと勉強

池崎元彦（神奈川 #431）

会社を退職してから5年程は貿易アドバイザー、中小企業診断士などの資格を活かしJICA、中小企業基盤整備機構、OVTAその他でコンサルタント・アドバイザーとして中国関係の仕事で海外出張もあり結構忙しい時期がありました。しかし最近の私のスケジュール表を見ると、仕事を選んだ？結果、仕事（売上）が少なく勉強（仕入）の方が忙しくなっているというのが私の今日この頃です。

勉強というのはセミナーへの参加や学会で発表する論文の作成などです。セミナー関係ではこのところ、ジェットロ主催の中国関係、貿易実務、知財、FTA、貿易投資など私の関心の高いテーマが多く、また内容も豊富でレベルも高いので良く参加しています。参加した時には必ず数名のAIBA会員とお会いします、皆様も新しい知識・資料の収集をしてアドバイスに備えておられるのでしょうか。私も少ないといえども仕事が入ってくるので貿易アドバイザーの名の下で相談にあずかる以上は例え詳細な内容は理解できなくとも、少なくとも環境の変化や新しい知識については理解しておくべくセミナーに参加しています。

しかし愚妻によれば家にいたくないための言い訳に聞こえるらしい、また愚妻によればアドバイスなどはテレビに出てくる高名な評論家のように百日一日の如く同じ

ことを言っておれば良いらしく、仕事もないのにセミナーにこっそりと出かける私を捕まえてはいつも皮肉を言うので閉口しているのが実情です。私が勉強などという昔の同僚が笑うし、私も少々似つかわしくないと考えていますが、私にでもまだチャンスにいただける間は勉強をつづけてチャンスに備えるのが義務と思っています。

しかしヒョットしたら誰からもお呼びがかからなくても、勉強は続けるのではと思うこともあります。人様にも愚妻にも迷惑をかける訳ではないから、自分の人生を通じてかかわった仕事、ライフワークの動向・新知識への興味を失ったら、なんとなく自分に対する誇りもなくなるのではないかと恐れに近いものがあります。ただし勉強の形が変わり、セミナーへの出席が減り日経新聞や雑誌を主として在宅で或いは老人ホームで勉強を続けるかも知れません。

さてこのようなことは先のこと、当面はAIBA会員の特典を利用してジェットロメンバーズセミナーなどに出席をし、仕入をして売上（時には無料）に備えたいと考えています。

チュニスよりごまめの歯軋り 海外会員の便り

—柳光宏（海外、チュニス #125）

ご無沙汰しておりますが、皆様ご健勝の事と思います。今夏も欧州南部の猛暑で死者多数、日本でも熱中症で子供達がバタバタ倒れましたが、50度以上を記録したチュニジアや更に暑いサハラ以南アフリカでは記事にも成りません。

人権保護の立場から死刑廃止を叫ぶ欧州では、イラクのサダム以下の旧体制幹部処刑には実質的には沈黙。

10年来非公式には存在が噂されるイスラエル核兵器を誰も公式に認めず、既核保有国以外には保有を認めないのが道理の現実。横須賀のKitty Hawkの後継空母に原子力空母が配備されようとしているのに、非核四原則はあくまで堅持と日本の政治家は唱えてる不思議。

サブプライム問題で各国金融当局は、市場の混乱回避と称した近視眼的施策のみで、結局は投機筋を煽る結果と成っている。ゴールドマンサックス証券社員の平均年俸7千万円越え報道の一方、Working Poorは確実に増加中。

実力が伴っているとは思えないEuro高はドル・円安の裏返しで、結局各国政府が意図するのは国家予算債務目減り目的の緩やかな世界的インフレ誘導では？原油を初めとする国際商品価格上昇も、歯止めが掛からない訳ですよね。

昨今の納得行かない事象を、思いつくままに書き連ねました。

チュニジアに限らず中東・北アフリカでは、世界中3,000 - 4,000の衛星TV局が無料で見られます。否応なし

に茶の間に飛び込んで来る臨場感、即時性、説得力有る音声画像情報は、迫力においてネット情報や新聞情報とは比較に成りません。翻って“情報鎖国の日本”では、“井の中の蛙”的な日本メディアや限られたネット情報程度しか受信出来ません。

国際的範囲の情報不足は、危機意識欠如に繋がります。“平和ボケ”から観光地での“カモ”まで多岐に亘りますが、日本・日本人の将来を考えると心寂しく成ります。愛国心・国防・外交・Identity / 誇りなどの問題を真剣に考え、変化著しい国際秩序の中で日本・日本人の繁栄を勝ち取るには、開かれた国際的双方情報交換が必須と思われるからです。

具体策として、

従来マニアックな対象でしか無かった衛星TVシステムを、官民揚げて日本にも普及させる。個人負担はパラボラ・アンテナ移動システム・デコーダー全て込みで、10万円も有ればお釣が来る筈です。

日本発信24時間ニュース衛星TV局を早急に開設する。

こちらでは米：CNN、SKY等、英：BBC、仏：France24、EU：EuroNews、露：Russia Today、UAE：Al Jazeeraは日常的に接していますが、中（CCTV）・韓（Arirang）・タイ（Thai - International）の国際TV局も受信可能です。

NHKはJSTV経由ニュース番組のみが無料受信可能ですが、国内向け情報主体で内容も高いとは言いがたいのが現状です。

日本のPresence高揚、Vision策定のタウンミーティング実施。

参加するだけで勝てない金食い虫のスポーツよりも、食文化初め古来の日本文化・武道、世界制覇中のマンガとかに予算配分を増やすとか、日本の姿が見えないIODAの仕組みを抜本的に変更するのを官僚任せでは、限界が有ると思います。

商社マンとして6カ国・20年の海外駐在時には余り気にならなかった、情報鎖国日本につき苦言を呈させて頂きました。なお海外投融資情報財団（JBICの調査機関）の9月15日付け機関誌のワールドレポート欄にも、拙文が掲載されておりますので、機会が有りましたらご覧下さい。

（JICAシニアボランティアとしてチュニジア外国投資振興庁に勤務中）

オーストラリアに移って、もうすぐ4年 海外会員の便り

小林公典（海外、メルボルン #234）

こちらでの貿易アドバイザーの仕事は日本の個人や中小企業の為に海外の取引先との交渉や連絡の代行がメインです。仕事の依頼は10年前に開設した私の個人の会社のホームページと、こちらに移ってから開いたオースト

ラリア・ジャパン・ビジネスサポートというホームページを通じてのものが殆どです。8月に日本に一時帰国の際、大阪でオーストラリア関連セミナーの講師をさせて頂いたのですが、これもホームページを通じて依頼があったものです。

貿易サポートの対象はオーストラリアから日本の輸入が多いのですが、商品はワイン、アパレル、健康食品などです。それ以外に米国の空調機器や台湾や欧州からの自転車輸入のお手伝いもしております。近く日本のベンチャー企業の製品をオーストラリア向けに輸出する手伝いもするようになりました。今年は日本以外に米国と中国にも出張をしました。やはりメールや電話だけでなく実際に貿易相手と会い、生産の現場を見る事が必要です。

午前中は殆どパソコンの前に座って仕事をするのですが、特に忙しい時でなければ昼までにはメールの処理や取引先との連絡業務は終わります。ネットで日本のニュースを読んだりしていると大体12時過ぎです。

昼食後には散歩を1時間くらいすることが多いのですが、近くの公園や王立植物園を回ります。季節の移り変わりが公園の木々や花壇で実感されます。週に1回は散歩を兼ねて片道30分の市立図書館に行き、そこでこちらの経済誌を読んだり映画のDVDを借りたりします。数は少ないのですが、日本の映画もあります。先日1951年制作、小津安二郎監督、原節子主演の「麦秋」という日本映画を楽しみました。

ゴルフは毎週日曜日に家内と一緒に車で25分位のところにあるゴルフクラブで回るので、同じくらいの年のオーストラリア人の夫婦と一緒に回る事が多く、プレイの後のビールと会話が楽しみです。車の運転があるので余り多くは飲めませんが、血中アルコール濃度が0.05%までは違反にはなりません。ビールを飲みながらお互いの子供や孫とか趣味や旅行の話、過去の自分たちの仕事の話などをするのもよいものです。

その他の楽しみは友人との食事やワインテースティングです。こちらでは日本にいた時より気の合った人達と一緒に食事をする機会が多くなりました。

ビクトリア州政府の主催でワインのテースティングが毎月一回開かれます。当日は気の合った友人と食事を共にするのも楽しみで毎回欠かさず出ております。このテースティングで知ったワイナリーを訪問してそのワインを日本に輸出する橋渡しをしたこともありました。

まだ当分の間メルボルンに滞在の予定です。こちらにお出かけの際はご一報ください。

支部活動

首都圏地区

首都圏勉強会

9月22日 9月度例会

テーマ：「中国ビジネスのコンサルティングにどう応えるか」

講師：貿易アドバイザー協会
会員（千葉 #474）白土茂雄氏

場所：東京都港区立商工会館

参加：43名

東海支部

例会（勉強会）

6月30日

テーマ：「これからのAIBA事業の方向について」

講師：AIBA理事長 網谷昭寛氏（#001）

8月25日

テーマ：「日本の植物防疫制度」
「輸入こん包材の検疫処置」

講師：農水省名古屋植物検疫所
次席植物検疫官 跡部達也氏
同 木戸喜昌氏

支部活動概況

「東海支部と一会員」

東海支部には設立のときから参加しておりますので10年以上になります。

港湾運送の企業に就職し大部分を通関の仕事ですごしました。通関業者は税関相手のため時間内（5時まで）に許可にならなければ臨時開庁の制度を利用することになり、お客様に余分な出費をしていただくことになりません。

そのためお客様がせっかく急ぎの書類を持ってこられても必要なことだけを聞いてそれでお引取り願いたいとは急いで申告書を作り通関の準備にかからなければなりません。ゆっくりとお客様の最新情報を聞くチャンスもありません。

2ヶ月に一度、名古屋港湾会館で行われるAIBA東海支部の例会に出席すると商社、銀行、メーカーなど港湾とは異なった分野の現役やOBの方がたくさんおられます。海外駐在経験の豊富な方もみえます。

中川支部長やメンバーの皆さんの人脈を生かして貿易に関連のあるさまざまな分野の方たちやAIBAの他支部の方を講師にお迎えした例会の講演やその後の時間を利用したメンバーとの情報交換や質疑応答におけるフォーマルな情報、さらに例会終了後ビールを飲みながら皆さんとの懇談でのインフォーマルな情報を得ることができます。

貿易業界といっても港湾という狭い世界しか知らない私にとって、貿易実務のさまざまな分野の方々の話を聞くことができることは仕事柄顧客との話し時間のない私にとっても日ごろの欲求不満の解消の場でもあり、また大切な勉強の場でもあります。

さらに年1-2回大阪に出かけ関西支部例会とその後の

飲み会にも図々しく参加しています。名古屋の雰囲気とは異なった関西人ならではの「こてこての話」が聞けることも非常に楽しいものです。

しかし例会の現状に満足している時代ではなくなりつつあります。貿易アドバイザーを取り巻く大きな環境の変化や、日本経済の変化、特に東海地方の企業の海外進出などに対応できる力量が求められています。

メンバーの中で個人的に興味をもち勉強してみたいと思われる分野での勉強会（PL法、インドなど）も10月例会から始まります。またそれぞれが専門とする分野について例会での発表機会を増やしていくことなどが取り上げられ、これも10月から実施される予定です。

常川八司雄（愛知 #249）

関西支部

受験対策ゼミ大阪会場報告

その日も大変な暑さで会場の廊下は冷房の効きが悪く開始15分前頃参加者がどっと入ってくると熱気でむっとし、受け付けの仕事は3人がかりとなった。

名前のチェック、テキストの配布、教本の引渡し、教室への誘導。受講される方々が行儀良く待ってくれ、流れを切ることもなく席についてくれたのは大助かり。3人がけで15脚の机に38人が座り、いささか窮屈であったが室内の冷房が良く効き幸いにも苦情が出なくて助かった。長時間の講義なので今後は2人がけでの準備が必要と感じた。

女性陣は若くて元気、一方男性陣はいささかお年を召された人のほうが多く30台の若い方はほとんど見当たらず、やはり経験を要求される資格だからか、また女性陣は勉強の一環としてこの試験を捕らえられているのかと推量。講義を聴いてくれるという点では理想的で熱心な方ばかり、ついつい講師の先生方も力が入り時計係りの花崎さんが進行速度の調整に大変なご苦労。

アンケートは38人中34人提出してくれた。JETROのHPでこのゼミの事を知ったと書かれた方が大変多く商工会議所のメールを見た方も4人ほど、残念ながらポスターを見て応募した人は少なく、やはりインターネットの時代を痛感した次第。ただポスターは各商工会議所に配られ関係のかたの目に触れ、また張り出してくれたりしたためAIBAと全国の商工会議所との今後の関係にとっ



大阪会場ゼミ風景 講師は山西健市氏（奈良 #483）

て大変有意義であったと思う。

今後このようなゼミを続け、AIBAがこの資格試験の主体になるためには受験される方々の裾野を広げていくべきであると考え。通関士を狙う人、貿易実務試験で上を狙う人などをうまく取り込めば、裾野を広げ長期展開も可能になると思われる。ここ2年間本部が中心となって教材を作成し、ゼミ運営の経験を積んでこられたので、これは是非長期にわたり活用戴きたい。

溝端和男（大阪 #316）

九州支部

支部活動概況

九州支部は5月末現在で17名が在籍しております。多くの会員がそれぞれ貿易に関連した本業を抱えており、また九州・沖縄という広範囲のエリアに在住されていることもあり、支部としての会合は小生が支部長を勤め始めてからは年に一回という少ないペースになってしまいました。

これは小生の前任の方々には年二回の会合を維持されていまして、大変恥ずかしい思いでもあります。

多くの支部会員は日常的に地元のジェトロ事務所とコンタクトがあり、またコンサルタントを営業される方もあるので、地元企業の貿易業務に関する話題、さらには貿易実務に関する問題点など支部会合では大変豊かな話題が飛び交います。

今後各会員間の連絡連携をよりきめ細かなものにしたと思います。

支部長 清田哲司

AIBA NET 論壇

(7月)

零細企業の中国投資相談

オークション詐欺のトラブル対策

ジェトロ民営化の報道について

中国ビジネスに関する質問

韓国への輸出に関する未収金の回収

貿易アドバイザーとしての見識

記名式B/Lの扱い

三国間貿易

(8月)

ジェトロ認定貿易アドバイザー試験合格証について

食品輸入の契約書の作成

中国・香港への米、牛肉の輸出に関する問題点

中国輸出増値税還付率の現況

SWIFT MT700によるL/Cの送付

(9月)

汎用部品の輸出先開拓の方法

台湾産巨峰の輸入の問題点

ベトナム向け中古自動車輸出の実務上の諸問題

貿易アドバイザーへの質問と回答の限界

SWIFT DEFINITIONS

L/C文言上の疑問

注：AIBA ML上で議論された情報・意見から、会員の貿易アドバイザー活動のための知見を高めるのに役立つもののテーマを列記しました。判りやすくするためテーマ・表題の表現を多少変えたものもあります。（編集者）

アドバイザーの活動

講演・講師

1. 清水 正明（埼玉 #47）

9/5,6

関東信越国税局主催

「日本酒輸出と中国市場」

於：前橋市及び熊谷市

2. 永野 靖夫（東京 #68）

7/24

栃木県大田原地区労政協会主催

「貿易におけるコミュニケーションの進め方」

於：大田原市

9/19

栃木県産業労働観光部主催

「輸出実務入門その2」

於：宇都宮市

3. 野本 功司（東京 #76）

8/2

ミプロ主催

ミプロ貿易塾

中級編（第1回）「輸送、通関」

於：ミプロ会議室

8/2

ミプロ主催

ミプロ貿易塾

中級編（第2回）「食品輸入手続き」

於：ミプロ会議室

4. 小林 公典（オーストラリア #234）

8/9

財団法人大阪国際経済振興センター主催

「オーストラリアへの進出の現状とそのメリットや留意点について」

於：ホテル日航大阪

5. 寺尾 邦彦 (東京 #270)

7/11,12

ジェトロ・AIBA共催

川崎重工業株式会社国際部門新人研修

「貿易実務基礎講座」

於：川崎重工業東京本社

7/17,18

ジェトロ・AIBA共催

川崎重工業株式会社国際部門新人研修

「国際マーケティング講座」

於：川崎重工業東京本社

8/8

ジェトロ・AIBA共催

川崎重工業株式会社国際部門新人研修

「FIDICターンキー約款の基礎知識」

於：川崎重工業東京本社

6. 鈴木 貞雄 (静岡 #309)

8/21

静岡市産学交流センター主催

小口輸入ビジネス講座

「小口輸入貿易についての概要と留意点」

於：静岡市内ベガサート

7. 平林 厚美 (長野 #312)

7/13

ジェトロ本部主催

講義・説明「企業研修、東京港湾施設・税関見学会」

於：東京港、大井埠頭

7/20 9/21

ジェトロ金沢主催

「空港・港でのモノの流れと関連情報」

於：金沢みなと会館

7/27

ジェトロ長野主催

貿易実務講座 / 特別・実践編

講義・説明「名古屋港湾施設見学会」

於：名古屋港、名古屋コンテナ埠頭

8. 小東 和裕 (兵庫 #416)

9/3,5

(社)神戸貿易協会主催

2007貿易実務講座

「貿易取引の始点から代金決済までの実務」

於：(社)神戸貿易協会

9. 貫洞 孝彦 (広島 #440)

7/6

ジェトロ松江貿易情報センター主催

平成19年度島根県委託事業農林水産物・食品輸出

実務研修会

「市場調査から代金回収までの輸出の流れ」

於：くにびきメッセ

訂正：7月号本欄の誤りにつき訂正とお詫び
6/7

ヒューマンリンク株式会社主催

新入社員研修「貿易講座・運輸・物流編」

於：エムシーマシーナリー本社

は、木村徹氏(東京#347)のご講演の欄に記載されるべきものでした。

校正時の見落としをお詫びし、訂正いたします。

相談・アドバイス

1. 清水 正明 (埼玉 #47)

7/4,20 8/28 9/3

埼玉県主催

埼玉県海外取引アドバイザー制度による相談

於：さいたま市

7/12 8/9,16,23 9/3,13,20

さいたまビジネスサポートセンターによる相談

於：さいたま市

2. 中川 善博 (三重 #67)

7/6,20 8/17 9/7,21

ジェトロ三重主催

巡回貿易相談

於：四日市商工会議所

7/19 8/16 9/20

ジェトロ三重主催

巡回貿易相談

於：伊勢商工会議所、松阪市産業振興センター

3. 鈴木 貞雄 (静岡 #309)

7/14 9/5

ジェトロ静岡主催

貿易相談会

於：ジェトロ静岡

4. 平林 厚美 (長野 #312)

7/4,18 8/1,29 9/12,26

ジェトロ長野主催

貿易相談会

於：ジェトロ長野

9/27

ジェトロ長野主催

貿易相談会

於：坂城テクノセンター

7/11,25 8/22 9/5,19

ジェットロ諏訪主催
貿易相談会
於：ジェットロ諏訪

5. 澤田 圭輔 (広島 #332)

8/28~30

広島県主催

広島県食品物産展及び商談会

商談支援アドバイザー業務

於：香港そごう及び香港貿易発展局

アドバイザーの現況(2007年9月30日現在)

期別人員

第1期 (#1~118)	49名	15.8%
第2期 (#119~179)	29名	9.3%
第3期 (#180~215)	19名	6.1%
第4期 (#216~264)	33名	10.6%
第5期 (#265~341)	49名	15.8%
第6期 (#342~368)	16名	5.1%
第7期 (#369~433)	43名	13.8%
第8期 (#434~453)	13名	4.2%
第9期 (#454~484)	20名	6.4%
第10期 (#485~503)	16名	5.1%
第11期 (#505~515)	7名	2.3%
第12期 (#516~520)	4名	1.3%
第13期 (#521~541)	13名	4.2%
合計	311名	

支部別人員

北日本支部	15名	4.8%
首都圏	175名	56.5%
東海支部	28名	9.0%
関西支部	50名	16.1%
中国四国支部	19名	6.1%
九州支部	17名	5.5%
海外	7名	2.3%
合計	311名	

理事会議事録(抄録)

第68回臨時理事会

日時：2007年7月7日(土) 15:00 18:00

場所：AIBA秋葉原事務所

出席者：理事および監事 13名(敬称略)

理事：網谷、渡辺、釜堀、小河原、井上、寺尾、白土、大河内、菅野、下田、畠山(北日本支部長)

監事：伊東、柴田

議題

1. 役付理事互選(6月23日定時会員総会当日)の再確認
理事長(代表理事) 網谷 昭寛
副理事長 渡辺 肇幸
専務理事 釜堀 孝雄

6月23日開催の定時会員総会にて選任された、新理事15名の互選により、以上の通り選任したことを再確認し、承認した。

2. 新年度 理事会組織図及び理事担当役割の承認
理事の担当役割が承認された。

3. 役員変更及び事務所住所変更登記手続きを司法書士宮房正志事務所に委託する件
異議なく、承認された。

4. 新年度 理事会開催日年間予定

原則として、奇数月の第3土曜日を理事会の開催日とすることとし、平成19年度は下記のスケジュールで理事会を開催することが事務局より提案され、承認された。

2007年7月7日、9月15日、11月17日、

12月15日(定例理事会)

2008年1月19日、3月15日、5月17日、

6月21日(定時会員総会)

年間8回。全理事召集の定例会議は12月と6月とする(但し、次回の理事会はその都度、確認すること)

5. 東京商工会議所会員加入の件

東京商工会議所の会員として、加入することを承認した。

6. 2007年度ジェットロ貿易アドバイザー試験「受験対策セミナー」をAIBA主催で実施する件

東京、大阪、仙台で実施する、具体的な計画が提案され、異議なく承認された。

(報告事項) 大手企業の研修事業にAIBAが講師派遣を決めた案件や海外展示会の施工業者との委託業務契約が成立した件などが報告された。 以上

第69回臨時理事会 議事録(抄録)

日時：2007年9月15日(土) 15:00 18:00

場所：AIBA秋葉原事務所

出席者：理事および監事 12名(敬称略)

理事：網谷、渡辺、釜堀、小河原、井上、寺尾、白土、大河内、菅野、下田

監事：伊東、柴田

議題

1. ジェットロ認定貿易アドバイザー試験受け皿作り動向

の現状

9月14日、ジェットロにて、網谷理事長、渡辺副理事長、釜塚専務理事がジェットロの斎藤審議役及び旅川主査と面談した結果を報告。

2. 事務局担当理事との業務委託契約更新と通信費処理法変更報告

平成19年7月20日付けで3契約を締結した。なお、通信費月額3,000円固定額支給は今回から廃止し、通信費を含め立替経費はすべて実費精算とした。

3. 受験対策セミナー2007実施状況中間報告と直前対策講座実施計画

渡辺事業本部長よりセミナーの実施状況について、中間報告が行われた。

4. 事業本部内業務分担案

現状、ジェットロの入札案件などで、一部の理事に仕事が集まっているので、理事の間で分散して処理したいとの提案が渡辺理事よりあった。

5. ジェットロ入札「消費財輸入法規ハンドブック更新および追加」業務委託の受注報告、その他最近のジェットロ入札への対応概況報告

2007年度「消費財輸入法規ハンドブック」(和文・英文)改訂版作成業務を受注した。

しかしながら、2007年度「貿易・投資相談Q&A(商品ごとの輸入手続)」更新業務は昨年に続き、失注した。毎年、AIBAが受注している重要案件である、「貿易・投資相談Q&A(各国貿易投資制度等)」「いわゆる「和文Q&A)」については、応札準備中である。(その後、受注が確定した)その他、阪和興業向け貿易実務研修、ジェットロの翻訳業務委託先公募、モンゴルへの短期専門家派遣などの案件が進行中である旨、報告があった。

6. 首都圏勉強会実施予定

確定分は下記の通り。(敬称略)

9月22日

テーマ：中国ビジネスコンサルティングにどう応えるか

講師：白土理事

会場：港区商工会館

10月20日

テーマ：最近のEPA状況について

講師：柴田洋二

場所：都立産業貿易センター(浜松館)

11月10日

テーマ：未定

講師：未定

場所：都立産業貿易センター(台東館)

12月は忘年会を実施。(なお、例年の会場、飯野ビルは建替え工事のため、使用できない)

7. 事務所住所移転登記および役員変更登記実施状況報告およびAIBA-HP上の定款一部変更と役員変更報告(事務局)

上記の登記は宮房司法書士事務所を通じて行われ、9月14日、手続きは完了した。

また、AIBA-HP上の変更も実施した。

8. 「AIBAだより」第45号(7月号)発行報告と第46号(10月号)への原稿協力依頼

第45号(7月号)は7月27日発行。第46号の原稿依頼は既に川村編集者から発信されているが、出来るだけ多くの会員の積極的な寄稿をお願いしたい。

9. AIBA事務所の電話・FAX兼用機種をそれぞれ専用機種に取り替える件。

業務に支障があるため、電話・FAXの兼用機をそれぞれ専用機種に取り替えることが事務局より提案され、承認された。

10. AIBAの英文ホームページの来年度立ち上げを目指し準備を進める

小河原理事を中心に、下田、菅野理事が委員会を作って、検討する。なお、海外企業からの国内市場調査事業の受託にも英文ホームページは必須であるとの意見が出された。

以上

< 編集後記 >

この46号の編集に当たっては、会員諸氏から常にも増して多くの原稿と報告を頂きお陰で内容豊かなものとなりました。編集者から電話・メール、理事会での要請などにより幅広い会員に直接お願いをした結果です。普段とは違って記事に多様性が出たと感じております。

活動地域の異なる方、様々な立場の方からの多様なご発言は、300人を越える大組織のAIBAにとって貴重なものと考えております。次号以降も会員の皆様の初投稿を期待いたします。

複数の会員から「AIBAだより」を印刷物でなく、Web Page掲載にしてはどうか」とのご意見をいただいております。検討すべき課題として事務局・理事会にて取り上げていただきたいと思います。

極めて保守的で且つAIBAだよりへの愛着と言うバイアスのかかった編集者の私見ですが...印刷された「AIBAだより」は、一般的に、インターネットがあっても印刷された新聞に存在価値があると同様に種々の便益性がある AIBA活動の履歴の保存に役立つ AIBAの外部の方々にAIBAを理解いただく為の配布物となる...のメリットは大きいと考えますが、如何でしょうか?(SK)

ジェットロより出版

「輸出のすすめ方」

平成18年10月初版発行

「輸入のすすめ方」

平成17年12月第4版発行

著者：永野 靖夫

<http://www.bouekitenbou.com>

60年の伝統と実績 70ヶ国 220万社
54,000の製品・サービスカテゴリ
世界最大級の企業情報検索システム

『KOMPASS』

1944年に設立されたコンパスは、60年以上にわたり世界中の企業の「製品・サービス情報」を中心にデータベースを構築し、情報を提供しております。以前は企業年鑑を中心に、現在はウェブ上でサービスを提供し、バイヤー・サプライヤーを探す手段として世界中の企業にご利用頂いております。

企業情報検索 (Web) 180,000円

1年間コンパスデータベースに無制限にアクセスが可能

海外向け情報発信 240,000円～

コンパスのデータベースへの登録により24時間
365日製品・サービスの情報を世界に発信

コンパス プラス 250,000円

企業情報検索、海外向け情報発信、更に海外企業
信用調査サービスのパッケージ

AIBA会員の方は上記価格より特別価格で提供

www.kompass.com

コンパスジャパン株式会社

Tel 0120-445-898 info@kompass.jp

『宝飾品なんでも鑑定と買取り』

1974年 米国宝石学会ロスアンゼルス本校卒業

1997年 ジェトロ認定貿易アドバイザー

どんなに古い、壊れた、小さい物でも大丈夫
金、プラチナ、ダイヤモンド、その他各種宝石
秘密厳守、鑑定鑑別のみ無料

宝石の杜

仙台市青葉区立町27-5 不二ビル1F

TEL/FAX: 022-267-9390

kuro@gold777.jp

<http://www.gold777.jp>

便利屋 カタヤンへ

中国関連の貿易・投資相談なら何でも新規取引
の相手探しからその実現までお手伝いします。

- A .中国語の翻訳・通訳兼ねてアテンド可能
クレーム問題の解決までもお任せ下さい
- B .中国語の翻訳
日本語 中国語@¥2000 / 中国語400字
中国語 日本語@¥1350 / 日本語400字
- C .お客様の要望あれば、中国へ同行出張 OK
交通費・宿泊費など実費費用と日当を
1日当たり@¥5800を客様負担で

KATAYAN-CNS Tel/Fax 0742-45-7254

E-mail: hk01_katayan@iris.eonet.ne.jp